

# 會 務 報 告

第 26 卷 第 2 號 昭和 17 年 2 月

## 役 員 會

### 第 21 同理事會（昭. 16. 12. 15.）

出席者：吉田副會長、青木理事外 2 名、中村書記長、小野寺庶務主任外 2 名

#### 報 告

1. 西部支部總會議事
2. 關西支部第 6 回役員會議事

#### 議 事

1. 西部支部長改選の結果金森誠之君當選せられたるに依り依囑
2. 西部支部内規改正を次の如く承認  
第 1 條中「商議員 14 名ヲ 16 名ト變更」
3. 昭和 17 年度役員詮衡委員を金子源一郎君外 20 名依囑
4. 本會の戰時態勢に關する件は次回協議
5. 昭和 17 年度收支豫算を別紙（省略）の通り承認

### 第 22 同理事會（昭. 16. 12. 22.）

出席者：吉田、黒田兩副會長、青木理事外 3 名、中村書記長、小野寺庶務主任外 2 名

#### 議 事

1. 故物部長穂君土木賞牌基金として 600 圓寄贈あり之を受領することに決定
2. 特定期間中入會金を免除することに決定
3. 土木賞牌贈呈論文の選定は編輯部長に一任
4. 通常總會開催の日時及議案を原案の通り決定
5. 本會戰時態勢に關しては新理事に於て協議
6. 入退會を別記の通り承認

### 第 23 同理事會（昭. 17. 1. 12.）

出席者：谷口會長、吉田、黒田兩副會長、青木理事外 3 名、中村書記長、小野寺庶務主任外 2 名

#### 報 告

1. 中部支部第 4 回役員會議事及講演會記事
2. 中部支部役員異動
3. 日本工學會評議員會議事

#### 議 事

1. 華北支部昭和 17 年度豫算を原案の通り承認
2. 華北支部長の任期を昭和 17 年 2 月末日まで延長の件を承認
3. 朝鮮支部昭和 16 年度及昭和 17 年度收支豫算を原案の通り承認
4. 昭和 16 年度事業報告別紙（省略）の通り決定
5. 昭和 17 年度支部交附金は別表（省略）の通り決定
6. 對爆調査委員會吉田委員長の後任に釣宮 磐君を依囑

### 第 12 同常議員會（昭. 16. 12. 22.）

出席者：吉田、黒田兩副會長、青木常議員外 9 名、櫻葉朝鮮支部長、中村書記長、小野寺庶務主任外 2 名

#### 報 告

1. 西部支部長に金森誠之君當選依囑
2. 西部支部内規中商議員 14 名を 16 名に變更
3. 入退會承認

#### 議 事

1. 故物部長穂君土木賞基金として 600 圓寄贈あり、之を受領することに決定
2. 特定期間中入會金を免除することとし之を總會に附議することに決定
3. 昭和 16 年度土木賞牌贈呈論文の選定は編輯部長に一任
4. 通常總會を昭和 17 年 2 月 16 日（月曜日）午後 5 時帝國鐵道協會に於て開催することとし提出議案は（別紙）省略の通り決定
5. 昭和 17 年度收支豫算を別紙（省略）の通り承認

## 總 務 部 記 事

### 第 11 同對爆調査委員會（昭. 17. 1. 15.）

出席者：釣宮、青木委員外 8 名、渡邊和夫君、小野寺庶務主任

#### 協議事項

1. 委員に次の諸君を依囑

- 川口克久君、渡邊和夫君、森田紀元君、牧野邦雄君  
 2. 友永委員提出の資料は一應分擔委員に於て審議  
 3. 河上委員提出の資料はゲラ刷として次回審議  
 4. 前回河上、畠雨委員より提出の資料ゲラ刷は今回間に合はざるに就き次回審議

第 90 回講演及映畫會（昭. 16. 12. 13.）

會場：新潟市公會堂

講演：

(1) 鴨綠江の話

日本窒素肥料株式會社技師 星野三郎君

(2) 雪の話

鐵道技師 裕積豊二君

(3) タヨマ橋の話

内務技師 工學博士 青木楠男君

映畫：

(1) 世界第3位大鐵橋倒潰	1卷
(2) 雪崩の試驗	1卷
(3) 鴨綠江大水力發電工事	5卷
(4) 白雪地獄	9卷

出席者：290名

### 編輯部記事

第 1 回會誌編輯委員會議事報告（昭. 17. 1. 14.）

出席者：廣瀬委員長、岡委員外 9名

1. 第 27 卷第 12 號登載原稿謝禮を決定

2. 第 28 卷第 3 號登載原稿を次の如く決定

論說報告：平行弦フィレンデール構形の應力實用算式（正、酒井忠明）、河相論 主として河相と河川工法との關聯性に就ての研究（其の 3）、（正、安藤峻一）、東京市の道路鋪装について（正、山本 享）

彙報：ドイツに於ける堰堤に關する發明（3）（正、吉藤幸助）、耐爆防護施設に就て（正、板倉忠三）

抄録：洪水量の直接算出法、埋設管に及ぼす飛行機衝撃荷重、米國南部諸州に於ける橋の高欄に就て、桁高の變化する鉄筋の挽み、道路縱斷曲線の切線勾配の計算に就て、網目式に布設された管内の流量決定、電化區間に於ける軌條波狀磨耗に就て、支柱の接合に關する新考察、爆撃下に於ける建築物、耐爆彈構造問題

3. 講演會記錄作製の件は講演梗概募集に應募せるもの 25 編、西部支部より送附のもの 30 編（但兩者重複せるものあり）にして、今後の應募狀況を待ち、取扱の決定は一先づ保留する事に決定

4. 本年度優秀論文候補選定の件は前回決定の數編の候補論文中より選出する筈であるが其最後の決定は委員長に一任する事に決定

5. 次回委員會は 3 月 4 日（水）の豫定

### 中部支部記事

第 4 同役員會（昭. 16. 9. 13.）

出席者：田淵支部長、上井評議員外 10 名、比企野幹事長、桑野幹事外 4 名

議事

1. 土木防備團に關する件

講演會（昭. 16. 9. 24.）

講演：

1. 愛知縣土木事業	城戸鑑吉君
2. 長野縣土木事業	杉山宗次郎君
3. 木曾川の水	櫻山壯次君
4. 名古屋市の後方地域としての伊那谷	田淵壽郎君

映畫：

伊那谷、水禍天津、その他

出席者：500名

役員異動 評議員 退任 大串榮太郎君

星野茂樹君

幹事 同 桑野實代嗣君

中島忠次君

評議員 新任 足立貞嘉君

森慶三郎君

幹事 同 廣川憲二郎君

吉田光太郎君

### 日本工學會記事

日本工學會第 10 回評議員會（昭. 16. 11. 27.）

議事

1. 職員歲末手當支給の件

### その他記事

土木學會誌第 28 卷第 1 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

入會及轉格會員

特 別 會 員 (入 會)

帝都高速度交通營團

2 級

正會圖(入會)

男春 雄敏 二成 男寬  
恒敏 史邦 靜  
磯大岸 白田 陳滿小  
崎津田 石村 留村  
保郎 男序郎 楷造鎮  
一菊 喜宏 與成地是  
原崎 田中  
石江 錄草田 趙福林  
司勇 平經郎 譬二漢  
清幸 致熊延石 鍊學  
藤崎瀨尾 張平劉  
伊岩加朱瀨  
司勇 平經郎 譬二漢  
三吉 傑夫郎 二猛春  
靜倉 紀一 善  
上泉 口田 村雙  
人麗定 川村  
井今 王坂住 岸中李  
彌三 鴻敏文慶叔久  
沼垣 賀本原叔本  
淺稻 王越杉竹程山  
虎次 善太光 久季內  
雄郎 一郎義 博良敏  
秋市 大霧白多陳山  
山川柳村石 久季內  
内

進會屬(入會)

祺厚三慶郎森郎勇門元茂司八  
家質宗恩幸梓啓山忠金瀨本  
要民郎慧吉釣寬雄男鄉市義郎  
王赫桑左澤張東中羽李平星金  
島惠治惣惣正逸力太忠六  
島原智森羽村村智畠崎  
大賀北黃笛姚鳥中西李武古尾  
夫吉郎塵郎敦久助茂夫治一平  
竹清太三佐之信辰公儀  
塙藤田原波田村野谷林館上  
大加金高柳千戸中西湯若古三  
雄新松年雄信敬郎已介桓吉郎  
芳丑延春清太克大忠峯太  
井德子藤川啓由川本野浦  
今王金孔齋竹程中西山李深三  
水軒仁司助男祚男一二英開一  
一華久廣藏重三代信士廣田  
島川林藤橋永田田清  
井溫榦小齋高趙富新山李傳松  
吉澤整治近安陞怨治治棠已雄雄  
正耕山島藤世紀井落惠山多本  
赤王一小佐朱張唐長冰李平本金

學 生 會 貢 (入 會)

君 塚 辰 雄 小出十九一 井 出 令 脩 稲 角 淑 漢 穴 和 俊 川 西 千 明 二 鈴 木 保 男 武 石 勉 星 井 光 二 豊 永 橋 二 正 會 員 (轉 格)

古賀登越田嘉一柴橋種造

數學學會各章

(昭. 16. 12. 22. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合計
2	4 036	5 533	1 484	136	25	11 216

正會員 新田留次郎君 昭和 16 年 12 月 29 日逝去せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 中村謙介君、宮澤徳司君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

准會員 尾形逸郎君、大濱金助君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

學生會員 市村一雄君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す